

科目名	韓国語 読解・作文 I B				
科目名(英)	Korean Reading and Writing I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	LANGS株式会社
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	韓国語教師資格取得者
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科(韓国語コミュニケーションコース)1年				
授業概要	日常生活に関する韓国語の文章を読み、自分の経験に関することや馴染んだ状況に関する文章を作る。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○		○	
	○	○		○	
テキスト・教材 参考図書	ランス韓国語2 A, B				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	第1課 人の紹介(読解・作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	2	第2課 ショッピング(読解・作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	3	第3課【1】 旅行商品広告(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)
	4	第3課【2】 旅行計画(作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	5	第4課【1】 旅行経験(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)
	6	第4課【2】 旅行経験(作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	7	第5課【1】 外見の描写(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)
	8	第5課【2】 外見の描写(作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	9	第6課【1】 近況(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)
	10	第6課【2】 安否(作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	11	第7課【1】 気分転換(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)
	12	第7課【2】 気分転換(作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	13	第8課【1】 注文方法(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)
	14	第8課【2】 配達アプリ(作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	15	第9課【1】 健康と治療方法(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)
	16	第9課【2】 民間療法(作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	17	第10課【1】 頼みの文(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)
	18	第10課【2】 頼みのメッセージ(作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	19	第11課【1】 宿の広告(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)
	20	第11課【2】 家の貸し出し(作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	21	第12課【1】 韓国の生活(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)
	22	第12課【2】 韓国の生活(作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	23	第13課【1】 家族の紹介(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)
	24	第13課【2】 家族の紹介(作文)			示された課題について作文をすること(1時間)
	25	第14課【1】 郵便の送り方(読解)			示された課題について作文をすること(1時間)

	26	第14課【2】 オンライン注文(作文)	示された課題について作文をすること(1時間)				
	27	第15課【1】 決心(読解)	示された課題について作文をすること(1時間)				
	28	第15課【2】 決心(作文)	示された課題について作文をすること(1時間)				
	29	第16課【1】 卒業プレゼント(読解)	示された課題について作文をすること(1時間)				
	30	第16課【2】 プレゼントの意味(作文)	示された課題について作文をすること(1時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題(作文)を数回実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	課題	◎			○		50%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	韓国語 語彙・文法 I B				
科目名(英)	Korean Vocabularies and Grammar I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	LANGS株式会社
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	韓国語教師資格取得者
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科(韓国語コミュニケーションコース)1年				
授業概要	韓国語会話の基礎となる文法・語彙を学習する。日常生活で平易な文章を作り、コミュニケーションがとれることを目標にする。				
授業形態	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○		○	
	○	○		○	
テキスト・教材 参考図書	ランス韓国語2 A, B				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	第1課(学校の生活)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	2	第2課(服・色・脱着動詞)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	3	第3課【1】(旅行1)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	4	第3課【2】(旅行2)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	5	第4課【1】(経験)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	6	第4課【2】(期間)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	7	第5課【1】(外見)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	8	第5課【2】(性格)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	9	第6課【1】(安否)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	10	第6課【2】(近況)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	11	第7課【1】(気分)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	12	第7課【2】(感情)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	13	第8課【1】(注文と配達)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	14	第8課【2】(数量名詞2)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	15	第9課【1】(健康)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	16	第9課【2】(病気)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	17	第10課【1】(頼み)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	18	第10課【2】(頼みの理由)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	19	第11課【1】(家)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	20	第11課【2】(間取り)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	21	第12課【1】(韓国の生活1)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	22	第12課【2】(韓国の生活2)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	23	第13課【1】(家族)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	24	第13課【2】(敬語)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)
	25	第14課【1】(銀行)			授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)

麻生外語観光 & ブライダル専門学校 シラバス

	26	第14課【2】(郵便局)	授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)				
	27	第15課【1】(計画)	授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)				
	28	第15課【2】(決心)	授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)				
	29	第16課【1】(お祝い)	授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)				
	30	第16課【2】(記念日)	授業の前に該当範囲の語彙を学習しておくこと(1時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)一つの課が終わって次の時間に小テスト(筆記)を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎			○		50%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	韓国語 会話・聴解 I B						
科目名(英)	Speaking and Listening Skills in Korean I B						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	LANGS株式会社
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	韓国語教師資格取得者
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科(韓国語コミュニケーションコース)1年						
授業概要	学校や家庭など、日常会話に対応できる韓国語の会話・聴解力の向上を目指す。						
授業形態	講義: ○		演習: △		実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		日常生活でよく使える会話を聞いて理解できる。	
	○	○		○		日常生活でよく使える会話が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	ランス韓国語2 A, B						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	第1課～第2課 学校の友達の紹介・商品交換					
	2	第3課 旅行計画					
	3	第4課 旅行経験					
	4	第5課 外見の描写					
	5	第6課 安否と近況					
	6	第7課 ストレスの解消法					
	7	第8課 電話注文					
	8	第9課 健康状態の治療方法					
	9	第10課 頼み方					
	10	第11課 住み方と生活					
	11	第12課 留学生のインタビュー					
	12	第13課 家族の紹介					
	13	第14課 両替					
	14	第15課 計画					
	15	第16課 お祝いのプレゼント					
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。(2)発表を数回実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	発表	◎			○		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	短期韓国留学										
科目名(英)	Intensive Korean Learning Program										
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		慶星大学		
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		韓国語教師資格取得者		
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科(韓国語コミュニケーションコース)1年										
授業概要	・提携先である韓国釜山の慶星大学において行われる短期語学留学 ・前期学習内容の定着を図ると共に、会話中心の授業で集中的に運用能力の向上を図る ・異文化理解を深める目的として、現地学生との交流会、文化体験を設定すると共に、大学学生寮にて現地学生と同様の生活に身を置きながら韓国の生活様式を学ぶ										
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○		○		日常生活でよく使う文法や表現を聞いて理解することができる。					
	○	○		○		日常生活でよく使う文法や表現を用いて会話をすることができる。					
テキスト・教材 参考図書	慶星大学オリジナル教材他										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	韓国語会話1 (1A・2課) 物(1)-物の名前、指示語									
	2	韓国語会話2 (1A・3課) 物(2)-物の位置、場所									
	3	韓国語会話3(1A・4課) 日常生活(1)-計画の説明									
	4	韓国語会話4 (1A・5課) 日常生活(2)-時間、日付									
	5	韓国語会話5 (1A・6課) 買い物 -個数、価格									
	6	韓国語会話6 (1A・7課) 交通手段 -目的地までの行き方									
	7	文化体験1 - バディー活動									
	8	韓国語会話7 (1A・8課) 週末 - 週末に行ったこと									
	9	韓国語会話8 (1B・9課) 約束 - 約束をする、断る									
	10	文化体験2 - K-POPダンス									
	11	文化体験3 - 韓国料理									
	12	韓国語会話9 文化体験についての発表(1)									
	13	韓国語会話10 (1B・10課) 道を尋ねる									
	14	文化体験4 - 韓服体験									
	15	文化体験5 - 韓紙・伝統楽器体験)									
	16	韓国語会話11 文化体験についての発表(2)									
	17	韓国語会話12 (1B・11課) レストランで注文する									
	18	韓国語会話13 (1B・12課) 趣味について話す									
	19	韓国語会話14 (1B・13課) 特別な日の計画									
	20	韓国語会話15 (1B・14課) 季節や天気について話す									
	21	韓国語会話16 (1B・15課) 旅行の計画について話す(1)									
	22	文化体験6 - K-POPダンス									
	23	韓国語会話17 文化体験についての発表(3)									
	24	韓国語会話18 (1B・15課) 旅行の計画について話す(2)									
	25	文化体験7 - 釜山観光									
	26	韓国語会話19 文化体験についての発表(4)									

	27	韓国語会話20（1B・16課）公共の場でのルール					
	28	文化体験8－パディー活動					
	29	フィールドトリップ（近郊日帰りツアー）					
	30	フィールドトリップ（近郊日帰りツアー）					
評価方法	(1)自分の考えを積極的に発言し、能動的に授業に参加する。 (2)課された課題の提出、授業内テストに合格をする。 以上を下記の観点・割合で評価し、評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席				◎		100%
	課題・宿題	○		○	○		
	発表	○		○	○		
履修上の注意	留学期間中に提供される多様なプログラムに真摯に取り組むことが要求される。また留学中の出席が3分の2に満たない場合は単位を付与しない。						

科目名	TOEIC対策 I C						
科目名(英)	TOEIC Test Strategies I C						
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	和田 菜穂	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験	外資系航空会社にて客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるTOEIC700点以上スコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。						
授業形態	講義:	○	演習:	△	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・次回ミーティングが、いつ、どこで行われるかについての説明を理解できる。	
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・留守電のメッセージを聞き、相手の用件や電話番号等が聞き取れる。 ・入国管理官に、滞在場所、期間、旅の目的を英語で聞かれた時、質問が理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル 文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Economics, Management, and International Business他						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	導入、夏休み明け復習テスト				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	2	TOEIC対策 リスニング(OL)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	3	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(品詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	4	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(代名詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	5	TOEIC対策 リスニング(OL)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	6	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(比較)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	7	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(形容詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	8	TOEIC対策 リスニング(OL)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	9	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(副詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	10	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(時制)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	11	TOEIC対策 リスニング(OL)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	12	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(態、コロケーション)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	13	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(不定詞、動名詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	14	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(接続詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	15	定期試験					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は700点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを20回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC(IP)	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定2級対策 I C						
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I C						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	外国人留学生支援企業にて 留学生の支援業務
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。						
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)	
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)	
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)	
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)	
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション					
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検ライティング、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検ライティング、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検ライティング、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検ライティング、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検模試①					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検模試②					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検本試験解説					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	試験対策					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	試験					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定準2級対策 I C						
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I C						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	中山 久豪
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	塾講師、英語講師
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格を目指す。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)	
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)	
	○	○				電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)	
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)	
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション					
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	4	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	5	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	6	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	7	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	8	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	9	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	10	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	11	英検模擬試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	12	英検模擬試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	13	英検本試験解説				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	14	英検本試験解説				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	15	授業内正試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	TOEIC対策 ID										
科目名(英)	TOEIC Test Strategies ID										
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		和田 菜穂		
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		外資系航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年										
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。										
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・International Herald Tribune」、「Financial Times」等一般的な国際英字新聞の記事を読んで、大まかに理解できる。 ・会議の議事項目(アジェンダ)を読んで理解できる。					
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。					
	○	○				社会性のある話題について書くことができる。(書く) ・今後取引先となりそうな相手に対して、自社製品を紹介・売込みのためのEメールやレターを書くことができる。 ・FAX、E-mailでホテルの予約ができる。					
	○	○				英語の履歴書を作成することができる。(書く)					
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル 文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Economics, Management, and International Business他										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(接続詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	2	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(前置詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	3	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	4	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(関係詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	5	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(語法)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	6	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	7	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(語法)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	8	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(語法)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	9	TOEIC直前模擬試験 Q&A					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	10	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	11	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	12	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	13	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	14	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	15	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	16	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	17	中間テスト(TOEIC)②									
18	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					

	19	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	20	TOEIC対策 リスニング(OL)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	21	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	22	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	23	TOEIC直前模擬試験 Q&A	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	24	Merry X'mas Entertainment					
	25	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	26	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	27	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	28	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	29	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	30	定期試験対策 学期総括					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを中間(10月)、学期末に実施する。(12月実施) 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		5%
	Cover letter&Resume提出	◎	○				5%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定2級対策 I D					
科目名(英)	EIKEN Test Test Strategies I D					
単位数	4単位		時間数	60時間	担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験	外国人留学生支援企業にて 留学生の支援業務
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年					
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。					
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション				
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	22	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	23	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	24	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	25	英検模試①	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	英検模試②	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検模試解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検模試解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検模試解説					
	30	後期のまとめ					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定準2級対策 I D									
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I D									
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		中山 久豪	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		塾講師、英語講師	
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年									
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。									
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)				
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)				
	○	○				電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)				
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)				
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	オリエンテーション								
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	4	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	5	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	6	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	7	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	8	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	9	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	10	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	11	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	12	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	13	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	14	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	15	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	16	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	17	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	18	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	19	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	20	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	21	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
22	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。				

	23	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	24	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	25	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	26	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	27	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	28	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	29	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	30	授業まとめ				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B					
科目名(英)	General English I B					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岡本 彩	
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外国人留学生支援企業にて 留学生の支援業務	
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年					
授業概要	英語を単語でなくセンテンスで表現するためには、品詞と5文型の理解が必須である。英語を作るルール（英文法）の基本となる品詞と5文型を平易な切り口で学び直し、なぜそのルールとなるのかを理解する。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことにより、適切な英文を作成できるようになる。					
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解することができる。
	○	○				文型ごとの動詞を使って、文を作ることができる。
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。
	○	○				英語の時制を理解し、身の回りの出来事を表現できる。
テキスト・教材 参考図書	高校英文法をひとつひとつわかりやすく 基礎からのジャンプアップノート英文法演習ドリル					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、前期の復習(品詞・5文型)				
	2	前期の復習(品詞・5文型)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	前期の復習(品詞・5文型)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	態①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	態②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	態③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	態④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	態⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	態⑥			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	態確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	分詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	分詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	分詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	分詞④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	15	分詞確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	16	不定詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	17	不定詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	18	不定詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	19	不定詞④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	20	不定詞⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	21	不定詞確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	22	動名詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	

	23	動名詞②	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	24	動名詞③	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	25	動名詞確認テスト	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	前期まとめ	前回までの復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を点70点以下とする。 (3) 授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	野々村 賢一
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	英語講師22年
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語を単語でなくセンテンスで表現するためには、品詞と5文型の理解が必須である。英語を作るルール(英文法)の基本となる品詞と5文型を平易な切り口で学び直し、なぜそのルールとなるのかを理解する。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことにより、適切な英文を作成できるようになる。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、前期復習			
	2	前期復習			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	3	句という塊: 準動詞 不定詞の名詞的用法			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	4	不定詞の形容詞的用法・副詞用法			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	5	不定詞、3用法のまとめとその他の用法 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	6	不定詞のまとめのテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	7	動名詞の説明①			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	8	動名詞の説明②			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	9	動名詞の実践練習 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	10	不定詞・動名詞まとめのテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	11	分詞の説明①			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	12	分詞の説明②			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	13	分詞の実践練習 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	14	不定詞・動名詞・分詞のまとめのテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	15	分詞構文の作り方と説明①			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	16	分詞構文の作り方と説明②			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	17	分詞構文の実践練習			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	18	準動詞 まとめテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	19	関係代名詞とは? 関係代名詞ができるまで①②③			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	20	関係代名詞 練習問題			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	21	関係代名詞 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	22	準動詞と関係詞のまとめテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	23	関係副詞の説明			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	24	関係代名詞と関係副詞の問題 非制限用法			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	25	関係代名詞のwhat 複合関係代名詞			予習、復習を行って授業に臨むこと。

	26	複合関係副詞	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	27	関係詞のまとめの問題	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	28	これまでのまとめまとめ①	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	29	これまでのまとめ②	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	30	期末対策	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を点70点以下とする。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B									
科目名(英)	General English I B									
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		大久保 舞	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		航空会社にて客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年									
授業概要	英語を単語でなくセンテンスで表現するためには、品詞と5文型の理解が必須である。英語を作るルール(英文法)の基本となる品詞と5文型を平易な切り口で学び直し、なぜそのルールとなるのかを理解する。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことにより、適切な英文を作成できるようになる。また、TOEIC Part5・7問題演習を通じ、品詞と5文型の知識を実践する。									
授業形態	講義: ○		演習: △		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解することができる。				
	○	○				5文型を使い分けることができる。				
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。				
	○	○				文法問題やTOEIC Part5への応用ができる。				
テキスト・教材 参考図書	オリジナル学習プリント									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	オリエンテーション、品詞概要、文中での役割								
	2	自己紹介／5文型とは／第二文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	3	第三文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	4	第一文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	5	第四文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	6	第五文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	7	第二文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	8	第三文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	9	第一文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	10	第四文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	11	第五文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	12	五文型 確認テスト					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	13	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	14	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	15	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	16	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	17	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	18	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	19	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	20	TOEIC Part5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	21	TOEIC Part6 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	22	TOEIC Part6 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	23	TOEIC Part6 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	24	TOEIC Part6 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			
	25	TOEIC Part6 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと			

	26	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	期末テスト前復習	前回の復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1) 定期試験（筆記）を実施する。 (2) 学内でTOEIC (IP) 検定試験を実施。 700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を70点以下とする。 (3) 小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S (90点以上)・A (80点以上)・B (70点以上)・C (60点以上)・D (59点以下) とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	若松 昌枝
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語の基本となる品詞と5文型を正しく使用し、より複雑な英文を作成できるようになる。、品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことで、検定取得や会話力向上に必要な英語の運用能力を高める。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	英文法トレーニングノートα、英文法・作文トレーニングノートα、英文法トレーニングノートβ				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	クラス概要の説明、前期の復習（品詞、文型、不定詞と動名詞）			
	2	分詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	分詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	比較①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	比較②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	比較③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	比較④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	態①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	態②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	態③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	態④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	関係詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	関係詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	関係詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	関係詞④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	関係詞⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	関係詞⑥			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	関係詞⑦			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	仮定法①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	仮定法②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	仮定法③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	仮定法④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	仮定法⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	仮定法⑥			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	分詞構文①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	26	分詞構文②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	27	分詞構文③	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	分詞構文④	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	分詞構文⑤	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期まとめ	前回までの復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点、400点未満を点70点とする。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English IB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中山 久豪
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	塾講師、英語講師
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語を単語でなく文として理解するためには、品詞と五文型についての知識習得が必要である。英文を作るルール(英文法)の基本となる品詞と五文型を学び、ルールの理解を深める。また、名詞・動詞についての知識を深め、より正確に自身の言いたいことを表現できるようになることを目標とする。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	総合英語プリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	プレイスメントテスト 振り返り			
	2	オリエンテーション、品詞と五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	品詞と五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	第一文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	第一文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	第二文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	第二文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	第三文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	第三文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	第四文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	第四文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	第五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	第五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	五文型まとめ			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	名詞と代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	名詞と代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	一般動詞とbe動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	一般動詞とbe動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	時制			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	時制			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	三人称単数現在の動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	三人称単数現在の動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	助動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	26	助動詞	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	態	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	態	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	自己紹介文 作成	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期まとめ					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) TOEIC (IP) 検定試験を4月、8月に実施する。 評価方法は700点以上取得で100%、650点以上で95%、550点以上で90%とする。それ以下も取得点数により評価に反映する。 (3) 小テストを実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S (90点以上)・A (80点以上)・B (70点以上)・C (60点以上)・D (59点以下) とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IP) 検定試験	◎	○				20%
	小テスト	◎	○		○		20%
履修上の注意	英単語の品詞がわかる辞書にアクセスできるようにすること。 また、出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名		SPI D					
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口／中山／合力／松藤		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年		グローバルコミュニケーション科 1年					
授業概要		航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテストの対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。					
授業形態		講義：○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。	
	○					計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。	
	○					四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書		「最新最強のSPIクリア問題集 24年度版」(成美堂出版)					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	仕事算、損益算、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	2	場合の数、確率、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	3	分割払いと割合、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	4	推論①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	5	推論②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	6	推論③、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	7	後期前半のまとめ				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	8	■ 中間テスト					
	9	図表の読み取り①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	10	図表の読み取り②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	11	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	12	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	13	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	14	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	15	後期後半のまとめ、後期試験対策					
評価方法	(1)定期試験 (2)中間テスト (3)出席状況 以上を、以下の観点・割合かで評価をする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎		○		80%
	中間テスト		◎		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意		出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名		SPI E					
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口／中山／合力／松藤		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年		グローバルコミュニケーション科 1年					
授業概要		航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテストの対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。					
授業形態		講義：○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。	
	○					計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。	
	○					四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書		「最新最強のSPIクリア問題集 24年度版」(成美堂出版)					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	仕事算、損益算、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	2	場合の数、確率、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	3	分割払いと割合、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	4	推論①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	5	推論②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	6	推論③、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	7	後期前半のまとめ				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	8	■ 中間テスト					
	9	図表の読み取り①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	10	図表の読み取り②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	11	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	12	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	13	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	14	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)	
	15	後期後半のまとめ、後期試験対策					
評価方法	(1)定期試験 (2)中間テスト (3)出席状況 以上を、以下の観点・割合かで評価をする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎		○		80%
	中間テスト		◎		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意		出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名		SPI F						
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	瀧口／中山／合力／松藤	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年		グローバルコミュニケーション科 1年						
授業概要		航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテストの対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。						
授業形態		講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。		
	○					計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。		
	○					四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書		「最新最強のSPIクリア問題集 24年度版」(成美堂出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	仕事算、損益算、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	2	場合の数、確率、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	3	分割払いと割合、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	4	推論①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	5	推論②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	6	推論③、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	7	後期前半のまとめ				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	8	■ 中間テスト						
	9	図表の読み取り①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	10	図表の読み取り②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	11	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	12	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	13	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	14	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0. 5時間)		
	15	後期後半のまとめ、後期試験対策						
評価方法	(1)定期試験 (2)中間テスト (3)出席状況 以上を、以下の観点・割合かで評価をする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験		◎		○		80%	
	中間テスト		◎		○		10%	
	出席状況				○		10%	
履修上の注意		出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	キャリアデザイン I B						
科目名(英)	Career Design I B						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	外国人留学生支援企業にて 留学生の支援業務
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科（韓国語コミュニケーションコース）1年						
授業概要	社会人としての基礎知識を学ぶとともに社会人基礎力を養成する。また、進路について考え、編入までにすべきこと、就職活動の準備を具体的に開始する。						
授業形態	講義：△		演習：○		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○			○		留学、就活に向けて、自ら情報集を行い、スケジュールを立てる。	
	○	○				自分の言葉で考えを伝えることができる。	
				○		社会人として必要な身だしなみやマナーを実践できる。	
				○		将来の目標を明確にし、主体的に活動することができる。	
テキスト・教材 参考図書	特になし						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	授業概要説明、留学・就職活動概要					
	2	就職するということを考える					
	3	業種・職種を知る					
	4	自己分析、「自己PR」1					自分の強みを文章でまとめておくこと。
	5	自己分析、「自己PR」2					趣味・特技・アルバイトについて文章でまとめておくこと。
	6	海外の大学に編入するということを考える					
	7	編入に必要な準備を考える					
	8	美容講座/着こなし講座					
	9	求職票清書1					
	10	求職票清書2					
	11	求職票清書3					
	12	求職票受付面接対策1					
	13	求職票受付面接対策2					
	14	求職票受付面接対策3					
	15	後期のまとめ					
評価方法	(1)後期中に2回作文を提出する。(2)その他提出物の期限を遵守する。(3)自分の考えを積極的に発言する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作文提出状況	○	○		○		50%
	提出物	○	○		○		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。上記以外の時間帯で面接練習を実施する予定あり。その際は時間を調整して参加すること。						

科目名	MOS演習 I B				
科目名(英)	MOS I B (PowerPoint)				
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	宮原 裕花
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	コンピューター会社にてPCインストラクターとして勤務
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科(韓国語コミュニケーションコース) 1年				
授業概要	タイピング練習にて、正確で速いタイピング技術を身につける。 PowerPointの基本操作を学び、さまざまな目的や状況に応じてプレゼンテーションを作成・編集できるようにする。 また、MOS PowerPoint対策問題の演習を通じて、応用力を養い、MOSの合格を目指す。				
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
			○		
	目標				
	正確で速いタイピングができる。				
	プレゼンテーションの作成と管理、テキスト、図形、画像の挿入と書式設定ができる。				
	表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入ができる。				
学習目標 (到達目標)	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	FOM出版 MOS PowerPoint 2019 対策テキスト&問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	2	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	3	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	4	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(4)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	5	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	6	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	7	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	8	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(4)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	9	タイピング練習、表・グラフ・SmartArt・メディアの挿入(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	10	タイピング練習、表・グラフ・SmartArt・メディアの挿入(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	11	タイピング練習、表・グラフ・SmartArt・メディアの挿入(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	12	タイピング練習、表・グラフ・SmartArt・メディアの挿入(4)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	13	タイピング練習、画面切り替えやアニメーションの適用(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	14	タイピング練習、画面切り替えやアニメーションの適用(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	15	タイピング練習、画面切り替えやアニメーションの適用(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	16	タイピング練習、複数のプレゼンテーションの管理(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	17	タイピング練習、複数のプレゼンテーションの管理(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	18	タイピング練習、複数のプレゼンテーションの管理(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	19	模擬問題(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	20	模擬問題(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	21	模擬問題(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	22	模擬問題(4)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	23	模擬問題(5)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと

評価方法	(1)タイピング速度の記録を取る。(2)テキスト、各章ごとの確認テストを行う。(3)検定試験(MOS)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	評価割合
	検定試験(MOS)	○	◎	○		50%
	確認テスト	○	◎	○		20%
	タイピング技能			◎		30%
履修上の注意	PC教室の整理・整頓に留意すること。					

科目名	就職実務													
科目名(英)	Job Hunting Tips and Techniques													
単位数	1単位		時間数		15時間		担当者		岡本 彩					
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		外国人留学生支援企業にて 留学生の支援業務					
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科（韓国語コミュニケーションコース）1年													
授業概要	就職活動に必須の自己分析、業界/職種研究、履歴書/エントリーシートの書き方、面接対策等の手法を、講義・演習を交えながら学ぶ。あわせて、情報収集の手法、就職活動の流れ、全体像を把握し、自立した就職活動ができるように支援を行う。													
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△					
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標								
	○		○	○		社会人として必要なマナーの基本を身につける								
	○	○		○		就職試験時に必要とされる基本的なスキルを理解し実践できる								
	○		○	○		主体的に就職活動を進めることができる								
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック													
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示						
	1	導入(昨年度実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなど)												
	2	今後の就職活動に向けて(1)ー求人票の見方												
	3	今後の就職活動に向けて(2)ー就職斡旋規定												
	4	履歴書・エントリーシートの書き方												
	5	筆記試験対策講座(SPI、一般常識、時事問題)												
	6	面接対策講座						就職に臨むうえで適切な服装で参加すること						
	7	面接対策講座						就職に臨むうえで適切な服装で参加すること						
	8	面接対策講座						就職に臨むうえで適切な服装で参加すること						
	9													
	10													
	11													
	12													
	13													
	14													
	15													
評価方法	(1)企業研究、自己分析レポート作成 (2)就職活動報告書提出 など総合的に判断し、評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。													
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合	
	レポート作成		○		○				◎				100%	
	就職活動報告書提出		○						◎					
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。													